
基本目標6 地域の活力を活かしたむら

分野⑳ 土地利用	施策39 土地の有効利用
分野㉑ 農業	施策40 農業の支援・振興
	施策41 有害鳥獣への対応
分野㉒ 商工業	施策42 企業誘致と雇用の確保
	施策43 商業の支援
分野㉓ 観光	施策44 観光基盤の整備

施策39 土地の有効利用



現状と課題

●国土利用計画・都市計画・農業振興地域整備計画・地域森林計画を基に、土地利用の整備を行っています。それぞれ、関係法令・計画との整合性を図りながら必要に応じて見直しを検討しなければなりません。

今後の方針

- 国土利用計画は、村に大きな影響を及ぼす事業が見込まれる際に、必要に応じて都市計画との整合性を図りながら、見直しを行います。
- 農業振興地域整備計画は、総合見直しから10年後となる2029年度までを目途に、再度総合見直しを実施し、農業的土地利用と都市的土地利用を明確にし、指定された用途通りの土地利用を目指します。
- 山林における適正な整備や開発等の管理を行い、本来の森林の在り方を守るため、国・県等と連携を図りながら、必要に応じて地域森林計画の見直しを行います。

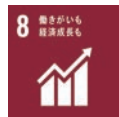
主な取り組み

事業名	事業内容
国土利用計画の見直し	村に大きな影響を及ぼす事業が見込まれる際に、必要に応じて都市計画との整合性を図りながら見直しを行います。
農業振興地域整備計画の見直し	優良農地の確保と保全に努めるとともに、農業的土地利用と都市的土地利用を明確にし、長期的展望に基づき農業振興地域整備計画の見直しを適宜進めます。
地域森林計画の見直し	国・県等と連携を図り、必要に応じて計画の見直しを行います。

施策の目標

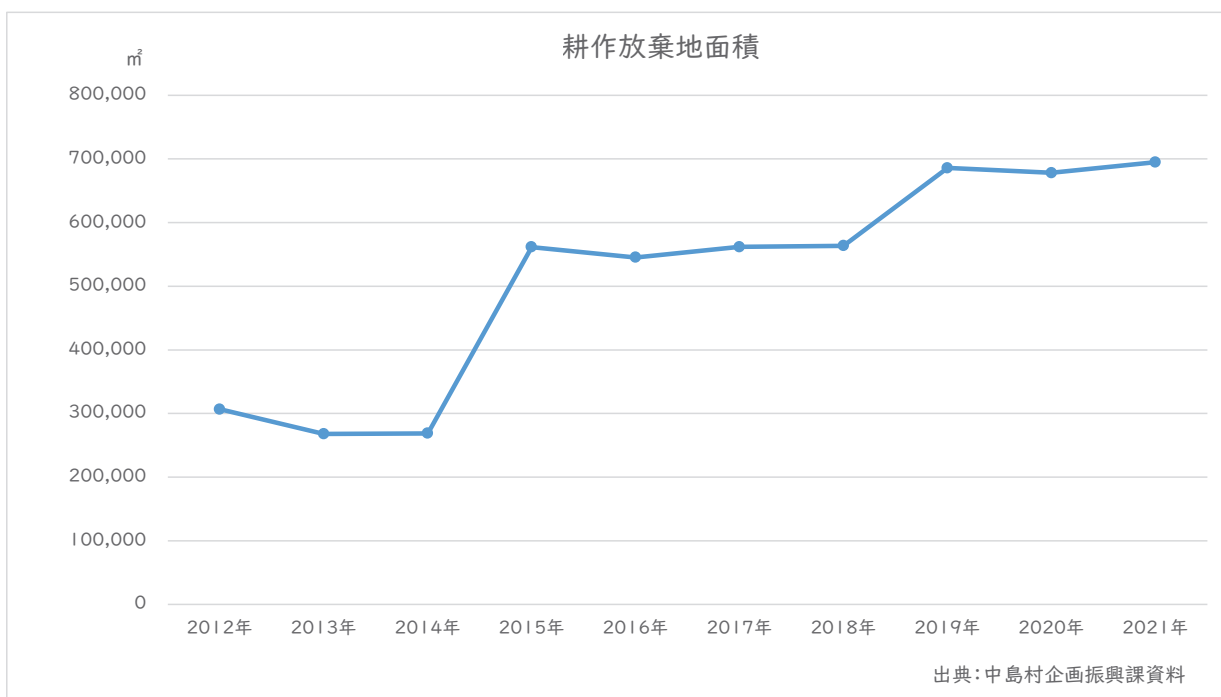
目標名	現状値(2021年度)	目標値(2032年度)
農業振興地域の土地利用状況 (指定された用途ごおりの土地利用率)	97.1%	98.0%

施策40 農業の支援・振興



現状と課題

- 村の基幹産業である農業は、農家等の高齢化や後継者不足が深刻化していることから、農家数の減少や、耕作放棄地が増加傾向にあります。
- 関係機関・団体および新規参入企業や農業法人との連携を一層強化し、農業生産基盤の充実を進めながら、意欲ある多様な担い手の育成・確保を図る必要があります。
- 地域の農地を適正に利用してもらうため、農地の集約化等に向けた取り組みを加速させることが課題です。



今後の方針

- 就農相談会への参加、関係機関と連携した相談体制を充実させることで、後継者及び新規就農者の育成・確保を図ります。
- 各地区における人・農地プランについて、農地及び農家の実情を基に「地域計画」を作成し、地域農業の維持発展に総合的に取り組みます。
- 農家等の効率的かつ安定的な農業経営を図るため、耕作放棄地の発生を抑制し、効率的な農地の集約を支援します。

主な取り組み

事業名	事業内容
多様な担い手の確保・育成	情報提供や研修機会の提供などを行い、就農相談会やフェアへの参加促進を図ります。また、農地の取得や賃借、実践の場の提供、研修先など関係機関と連携した就農相談体制を充実させ、後継者や新規就農者への支援を推進します。
地域計画（人・農地プラン）の促進	各地区における人・農地プランについて、農地及び農家の実情を基に「地域計画」を作成し、総合的な農業の維持発展に努めます。
農地流動化対策の推進	農家等の効率的かつ安定的な農業経営を図るとともに、耕作放棄地の発生を抑制するため、農地流動化を推進します。

施策の目標

目標名	現状値（2021年度）	目標値（2032年度）
新規就農者数（年間）	2人	1人
認定農業者数（個人）	77人	減少を食い止める

施策4 | 有害鳥獣への対応



現状と課題

- 有害鳥獣による農作物被害は全国的に見て年々増加傾向にあり、近年では村でも農作物被害が増加傾向にあり、有害鳥獣捕獲対策を充実させる必要があります。

今後の方針

- 有害鳥獣駆除を継続し、農作物被害の抑制に努めます。
- 猟友会等狩猟者の人材育成や被害防止策を検討します。

主な取り組み

事業名	事業内容
有害鳥獣駆除	特定期間に、有害鳥獣の捕獲・駆除を行います。
担い手の育成	今後も継続して有害鳥獣の捕獲・駆除が行えるよう、人材の育成を支援します。
有害鳥獣被害防止の支援	被害防止策を検討し、村全体での有害鳥獣被害防止を推進します。

施策42 企業誘致と雇用の確保



現状と課題

- 若者の定住促進やUターンを呼び込むためのトップセールス、企業誘致候補地の紹介等を行っています。
- 新たな企業の誘致や既存企業の更なる事業拡張に結びつくよう、需要に即した土地の有効活用や支援を継続実施していくことが求められています。
- 既存企業との連携強化や関連企業の立地促進に取り組み、近年の雇用環境の変化に対応していく必要があります。

今後の方針

- 雇用の創出を図り、地域経済の活性化や若者の流出抑制、定住人口の増加を実現するため、既存企業の事業拡大や企業誘致を推進します。
- 新卒者等に対し、ハローワーク等からの情報提供などを行い、雇用の創出につなげます。

主な取り組み

事業名	事業内容
企業誘致の推進	セミナーやセールス等を活用し、県内外からの企業誘致を推進します。
既存企業との連携強化	企業訪問の実施等により、情報の共有や提供に努めます。

施策の目標

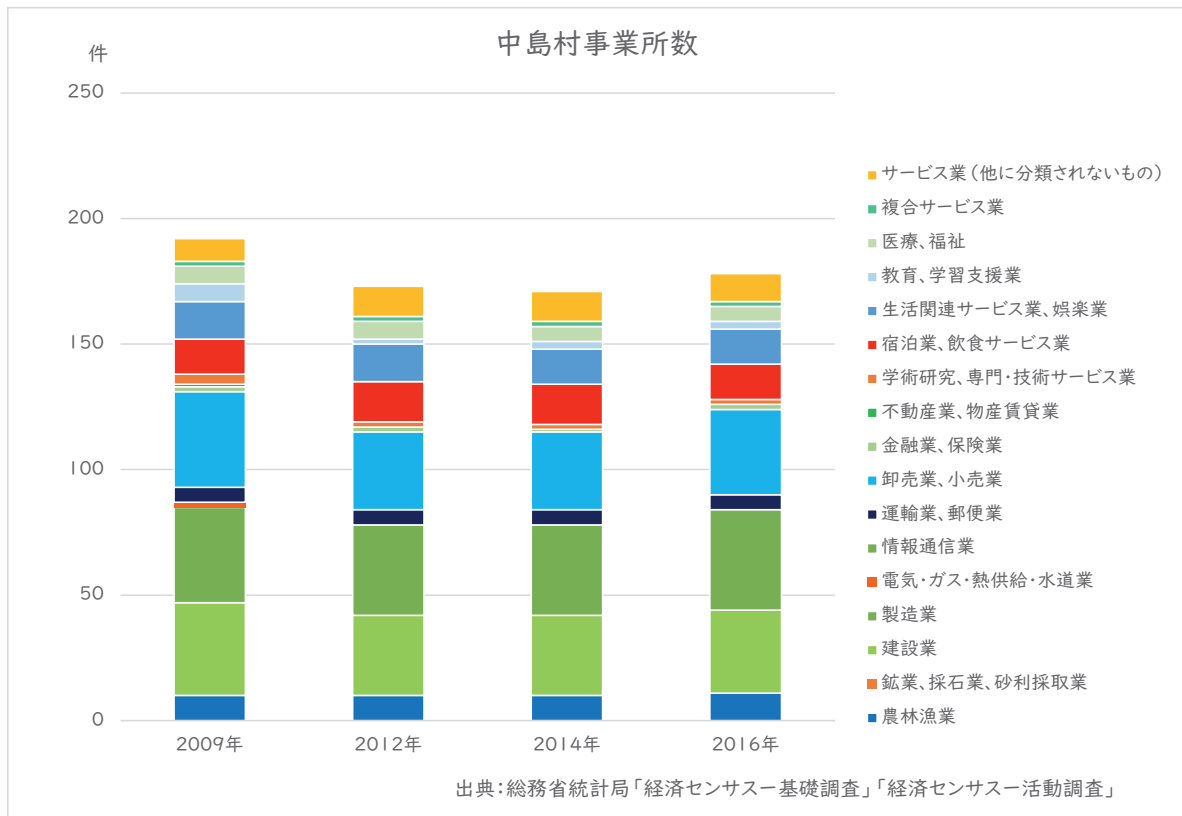
目標名	現状値(2021年度)	目標値(2032年度)
村内企業訪問回数(年間)	5回	20回

施策43 商業の支援



現状と課題

- 商工会を中心に、経営相談や地域活性化のイベント、買い物に応じたポイント制度など、地域に根差した活動を展開していますが、経営者の高齢化や後継者不足、購買方法の多様化、顧客減少等から事業所数は減少しています。また、大型商業施設の出店に伴う商業活動の変化も現れています。
- 年々小売店が廃業しており、高齢者の買い物など一部不便な地域がみられることから、消費者が利用しやすいサービスが求められています。
- 今後も大型店との競合や、売上高・客数の減少、後継者問題により廃業の増加が懸念されま



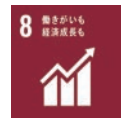
今後の方針

- 村内で食材や生活用品を揃えることができるよう、スーパーマーケット等の誘致を推進します。
- 特色ある商店の育成や誘致を図り、村内外からの集客を目指し地域商業の活性化を支援します。

主な取り組み

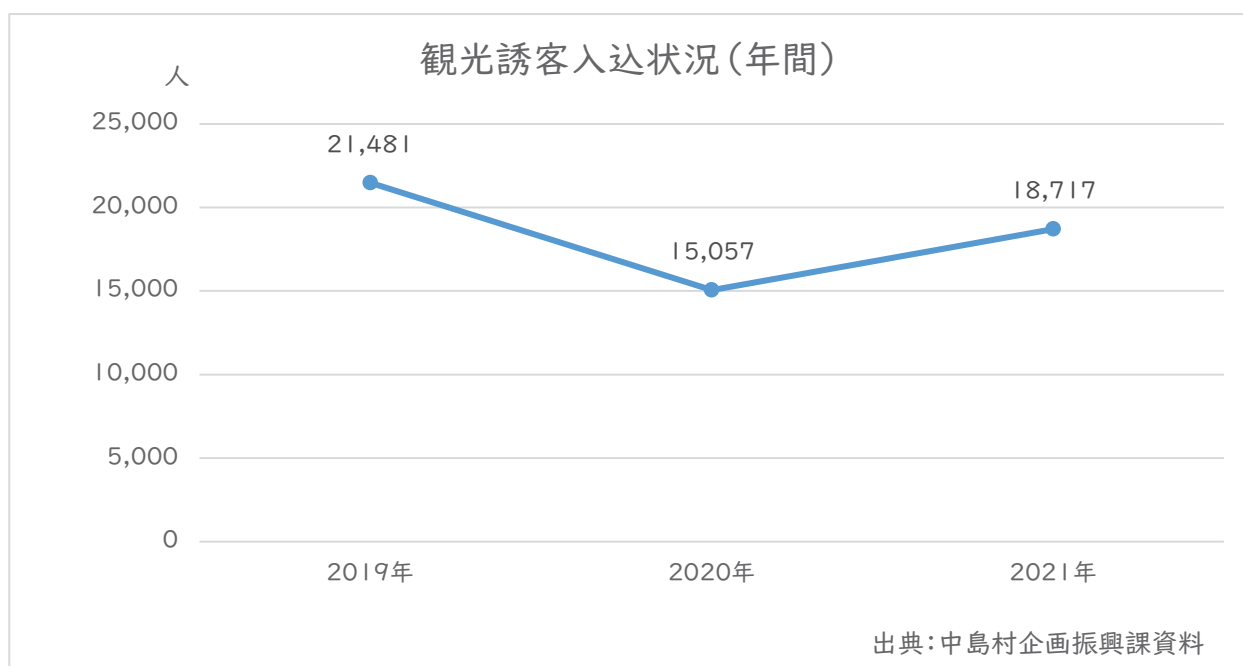
事業名	事業内容
村内外から集客できる魅力ある 商店づくりの支援	魅力ある商店づくりを行う事業者を支援します。
商業の支援	商工会等への支援を行います。

施策44 観光基盤の整備



現状と課題

- 村は観光資源が少なく観光客の誘致が難しい状況です。
- 村指定文化財である汗かき地蔵をモデルにしたイメージキャラクター「なかじぞうさん」による県内外のイベントPR活動により、村のイメージアップを図っています。



今後の方針

- 既存の観光資源の活用と新たな観光地の発掘を進め、また特産品の開発等を行い、県内外に中島村をPRし誘客を図るため、積極的に各種イベントで村の魅力発信を行います。

主な取り組み

事業名	事業内容
観光資源の充実や誘客の推進	観光資源の掘り出しや各種イベントによる誘客を推進します。
特産品の開発	特産品開発における補助や認定等を実施します。

施策の目標

目標名	現状値(2021年度)	目標値(2032年度)
観光誘客入込数(年間)	18,717人	22,000人



地域の活力を活かしたむら